

[育林研究室]D. 各種試験地の設定

宮島, 寛
九州大学農学部附属演習林 : 助教授

汰木, 達郎
九州大学農学部附属演習林 : 助手

<https://doi.org/10.15017/1456170>

出版情報 : 演習林研究経過報告. 昭和38年度, pp.82-83, 1964. 九州大学農学部附属演習林
バージョン :
権利関係 :

無施肥木では0.15 ~ 0.97の範囲で逆にE→Aの方向に大きい値を示す傾向が認められた。このことは、施肥の効果が一方では土壤養水分の保持力(保水性)の大小に影響されることを意味し、他方では養水分の吸収をより容易ならしめる条件として、植物の根の発達を促進するような土壤の理学性、とくに透水性と関係が深いことを意味するものと考えられる。従つて、林木の養分吸収に関与する土壤の理学性としては互いに相反する二つの条件、すなわち、土壤の透水性(透水度)と保水性(水分当量)がそれぞれ適度に満足され得るような土壤の物理的条件が望ましいことになる。

D. 各種試験地の設定

宮島 寛、 太木 達郎

38年度中に次のような試験地を新たに設定した。

1. 深耕植栽試験地

苗木を深耕植栽した場合、活着やその後の生育がどの程度良くなるかを明らかにするため、試験地を2林班ろ小班に設定した。この場合深耕としては直径60 cmの円内を深さ30 cm迄よく耕すこととし、その中心にヒノキ苗を植栽した。

2. 品種-密度試験地

従来樹冠巾の狭い品種は密植に適しているといわれているが、この樹冠巾を指標として品種と植栽密度との関係を明らかにしようと考え、挿木スギで樹冠巾の広いエダナガ、狭いイワオスギ、中間のマイタを用いて密度水準2500, 5102, 10,000^{*}/haの試験地を15林班ろ小班に設定した。面積約1ha

3. 巢植試験地

スギ挿木品種マイナを用いて1巢当り本数1, 3, 4, 6, 巢間隔4.6mの巢植試験地を15林班ほ小班に設定した。面積約40a。

4. 巢挿試験地

直挿によるスギ林成立の可能性を明らかにするため、とくに巢挿方法による直挿試験地を15林班ほ小班に設定した。挿穂としては、アマスギおよびマイナを用い1巢当り挿付け本数は6本とした。巢間隔は4mとした。面積約10a

過去10年間の研究報告

宮島 寛、中島能道：省力的育林技術に関する研究(案ノ報)

日林九支講 1963. 10. 27

宮島 寛、竹原幸治：苗畑雑草の生態

日林九支講 1963. 10. 27

汰木達郎：下刈りの方法、時期、回数と植栽密度との関係

日林九支講 1963. 10. 27

宮島 寛：省力林業と除草剤の使用

大分県林業改良普及協会講演 1963. 9. 20

宮島 寛、汰木達郎：土壌の物理性が林木の養分吸収におよぼす影響

日林講 1964. 4. 6